

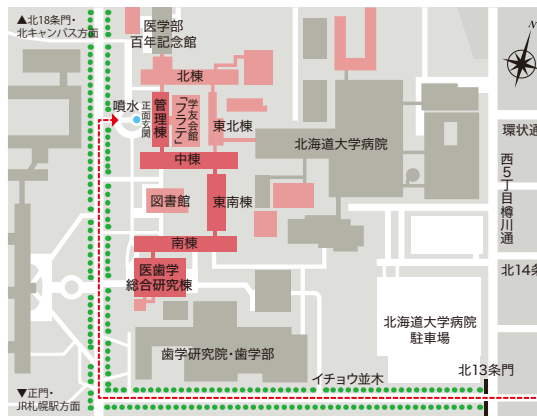


今日、医療技術の高度化や新たな手術手技の複雑化が進み、急速に進歩する高度な医療を安全に提供するためには、医療人に対する生涯的な教育・研修システムの構築が急務となっています。

そこで、北海道大学病院並びに医学研究院では、ご献体を使用した外科解剖・手術手技研修事業であるCAST(Cadaveric Anatomy and Surgical Training)実施運営委員会を立ち上げ、ご献体による医師・歯科医師に対する手術手技研修や先進的医療の研究を開始しました。事業を通年で行うためには、医学生の使用する解剖実習室とは別の専用の実習室が必要となるため、新たに「臨床解剖実習室」(CAST-Lab.)を整備しました。

CAST関連事業で行うこと

臨床医学の進歩を目的に、北海道大学白菊会会員ならびにご家族・ご遺族の皆様のご理解とご協力のもと、「臨床医学の教育研究における死体解剖ガイドライン」、「死体解剖保存法」、「献体法」を遵守し、安全な手術の実施に必要な手術手技のトレーニング、新しい術式や新規の医療機器の研究開発など、ご献体を使用した医学教育と医学研究(臨床解剖)を実施します。



アクセス マップ

〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学医学研究院 医歯学総合研究棟 1階

*北13条門からイチョウ並木を通り、T字路を右折。
噴水のあるロータリーが目印です。
管理棟で受付後、中棟・東南棟・南棟を通ると医歯学
総合研究棟に至ります

問合せ先

北海道大学CAST関連事業
ホームページ内「お問い合わせ」フォーム

URL : <https://cast.med.hokudai.ac.jp/>

または

北海道大学CAST関連事業 事務局

〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目

電話/FAX : 011-706-8810

Eメール : cast_jimu@med.hokudai.ac.jp

北海道大学CAST関連事業の詳細はこちら

<https://cast.med.hokudai.ac.jp/>



臨床解剖実習室の整備費用および手術手技研修等の実施に必要な手術器械等の購入費用には、臨床系各教室の分担金、法人・団体・篤志家の皆さまからのご寄付、研究費・補助金の一部を使用しています。

Hokkaido University CAST-Lab.

北海道大学 臨床解剖実習室

Laboratory for Clinical Anatomy, Surgical
Training & Translational Research



北海道大学 CAST関連事業

Hokkaido University CAST Project. Clinical Anatomy,
Surgical Training & Translational Research



CAST-Lab.

設備

- 手術台.....2台
 - 下腿支持器.....2台
 - 頭部固定器.....2台
- 無影灯.....4台
- 内視鏡手術装置(腹腔鏡).....2式
(ディスプレイ、気腹装置、カメラ装置、光源装置)
 - 手術画像録画装置.....2台
 - 内視鏡手術スコープ.....3台
 - 内視鏡手術鉗子.....多数
- 内視鏡手術装置(耳鼻科・脳外科用).....1式
- 放射線透視装置.....1台
 - 放射線防護器具.....1式
- 電気メス.....3台
- 超音波凝固切開装置.....2台
- 胸骨鋸.....1台
- 鋼製小物.....多種
- 遺体保管庫(5体用).....1台
- 電子黒板(液晶ディスプレイ).....1台

(2020年6月現在)

整備施設

臨床解剖実習室: 38.538㎡
 器材保管庫: 1室
 秘密保持用保管庫: 1室

実施できる手術シミュレーションの例

- 開胸術(循環器・呼吸器・食道外科)
- 開心術(循環器・救急外科)
- 開腹術(消化器・循環器・泌尿器・婦人科)
- 内視鏡手術(消化器・呼吸器・泌尿器・婦人科・耳鼻科・脳外科・整形外科)
- 頭頸部・頭蓋底手術(耳鼻科・脳外科・口腔外科)
- 移植手術(心臓・肺・肝臓・腎臓)
- 整形外科手術(脊椎・上肢・下肢・股関節)
- 外傷外科手術(緊急止血術)
- 形成外科手術(皮弁作成、皮膚移植)
- 歯科・口腔外科手術(歯科インプラント)
- 放射線透視装置を使用したIVR治療
- 救急治療(気管挿管、気管切開、胸腔ドレーン挿入)

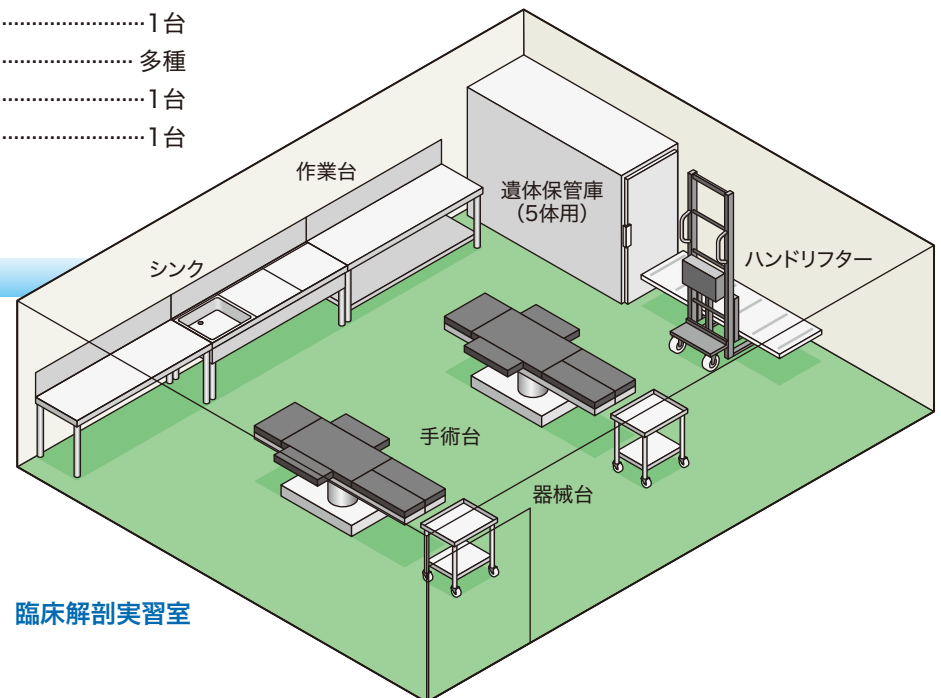
北海道大学「臨床解剖実習室」の特色

放射線透視装置、CTスキャン、MRIが使用可能

- 生前の疾患情報の取得による、効率的な実習
- インプラント実習における、機器の挿入・置換した状況の事後確認
- 新たな医療機器の研究開発における、機器の人体への影響の確認
- IVR(画像下治療)手技の研修及び研究開発
- 手術支援ロボットなどの高重量機器の使用

大規模なセミナーも実施対応

- 臨床解剖実習室を核に、解剖実習室を併用することで、数人から100名以上の大規模なセミナーまで、様々な規模の臨床解剖実習の開催が可能



臨床解剖実習室